

おとしより、体の不自由な方、妊婦さん、乳幼児をもつご両親など

# 仮設住宅の「使いにくさ」にお困りの方へ

**ご自身の費用負担なし**で解決できる方法があります。

玄関、お風呂、トイレなど、仮設住宅での日常生活上の動作にご不便がある場合、公費負担でそれを解決する道具(福祉用具など)の利用・設置ができます。具体的な対応方法の例をご紹介します。

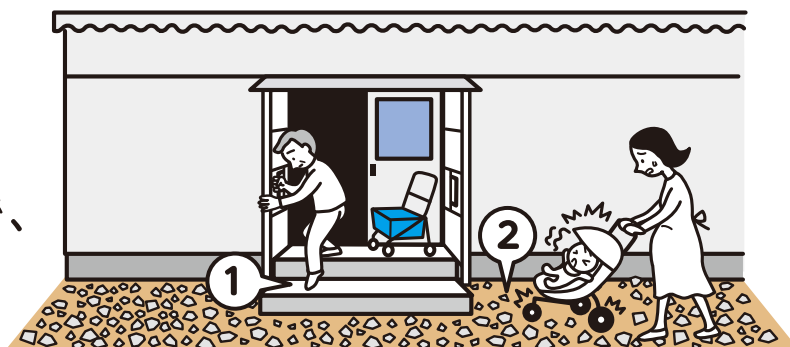


## 玄関まわりで困っていませんか？

[現状]

**段差①**や

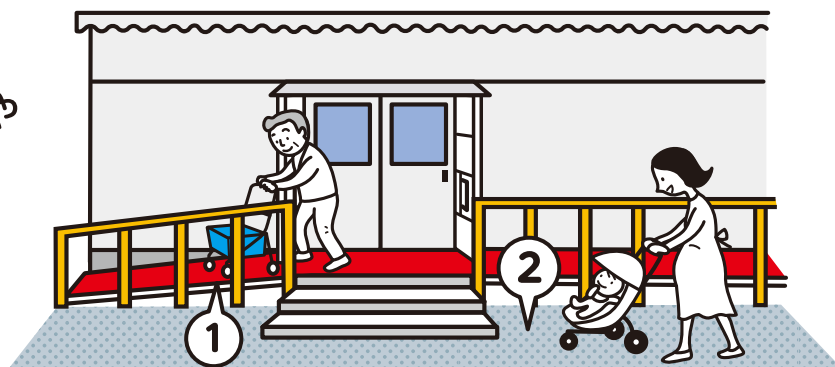
**通路の砂利敷き②**で、  
お困りの場合



[改善後]

**スロープ①**の設置や

**舗装②**で利用しやすくなります。





## 入浴で困っていませんか？

- 浴槽のへりが高く、またぎにくい
- 洗面台があることでお風呂場が狭く感じる
- 浴室の出入り口の段差などが不便

いくつかの用具を組み合わせることで、入浴動作がしやすくなります。

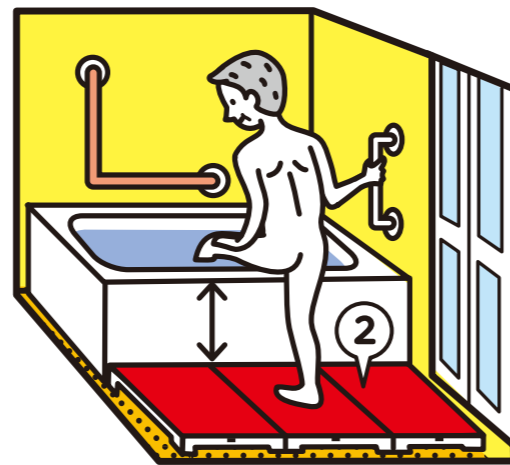
代表的な用具と使い方は以下のイラストを参考にしてください。

ユニットバスに取り付けられる  
**手すり①**の設置。

洗面台を撤去し、  
広く使うことも  
考えてみてください。



出入り口の段差に合わせて  
**すのこ②**を敷きつめることで、  
浴槽のへりが低くなり、  
不便さが解消されます。



**浴槽用手すり③**は、

へりに挟み込んで取り付けられ、  
浴槽を傷つけることなく自由に  
脱着ができます。



**シャワー用いす④**の利用で

楽に体が洗えます。  
座面高さを変えられたり、  
背もたれや肘かけがついている  
タイプもあります。



**浴槽用いす⑤**は、

踏み台となって浴槽の  
出入りをしやすくしたり、  
浴槽内に座った時の足の  
曲がりを楽にします。  
吸盤付きで高さの調整が  
できるタイプもあります。





# トイレで困っていませんか？

トイレ内で動きにくい場合でも改善方法があります。



内開きのドアで不自由な場合  
ドアを外し、**カーテン①**の  
設置で利用スペースが確保  
できます。



**手すり②**の設置で、座ったり  
立ったりすることや、もたれる  
ことで衣服の上げ下げがしや  
すくなります。

## ちょっとした道具の活用や工夫で日常生活を改善できます。

仮設住宅の段差や狭さのために、浴室やトイレが使いにくかったり、転びそうな不安から外出を控えたりしていませんか。仮設住宅に暮らしを合わせるのではなく、暮らす人に仮設住宅を合わせるために、福祉用具などを活用することが大切です。

公益財団法人 テクノエイド協会 理事長  
日本社会事業大学大学院 特任教授

**大橋 謙策**

費用負担なしの制度利用には、期限があります。お住まいの市町担当窓口にお問い合わせください。

|      |              |                                |      |                |               |
|------|--------------|--------------------------------|------|----------------|---------------|
| 石巻市  | 仮設住宅運営管理室    | ☎0225-95-1111<br>(内線4766,4765) | 亘理町  | 保健福祉課福祉班       | ☎0223-34-1114 |
| 塩竈市  | 生活福祉課        | ☎022-364-1131                  | 山元町  | 保健福祉課          | ☎0223-37-1113 |
| 気仙沼市 | 住宅課仮設住宅係     | ☎0226-22-6600<br>(内線536,537)   | 七ヶ浜町 | 地域福祉課          | ☎022-357-7449 |
| 多賀城市 | 社会福祉課        | ☎022-368-1141<br>(内線162,163)   | 大郷町  | 総務課            | ☎022-359-5500 |
| 岩沼市  | 社会福祉課        | ☎0223-22-1111<br>(内線355)       | 女川町  | 健康福祉課          | ☎0225-54-3131 |
| 東松島市 | 市民協働課仮設住宅管理班 | ☎0225-82-1111                  | 南三陸町 | 南三陸町地域包括支援センター | ☎0226-46-5588 |

このパンフレットは株式会社ランダルコーポレーションの寄付により、宮城県内の応急仮設住宅約120件の調査結果を基に作成したものです。

制作協力：宮城県東部保健福祉事務所

企画協力者：ふつうの暮らし研究所(所長 吉川和徳)

企画制作：社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 宮城県介護研修センター ☎0229-56-9608



読みやすさを追求した書体を使用